

八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信
第6号（令和3年9月1日発行）
発行責任者 熊本 直樹



感染症更に拡大！佐世保市はレベル5に突入

本日学校は前期後半がスタートしましたが、何だかそれどころではないという気分ですね。すでにステージ5だった長崎県に続き、先月20日に佐世保市も「レベル5」に突入しました。市の規定では学校関係の行事は基本的に中止または延期、部活動は中止を検討、また場合によっては学校自体が臨時休業といった状況下になっています。何とか臨時休業にはならなかったものの、本校では今月12日（日）に予定していた体育大会が、別紙お知らせしたとおり、19日（日）に延期となりました。修学旅行や野外宿泊活動に続き、またしても感染症拡大のあおりを受けることとなりました。ご理解・ご協力をお願いいたします。

リモート登校日大成功！生徒全員元気な姿を確認できました。



前述しましたように、8月20日（金）に発表された市による「レベル5」宣言を受け、市内どの学校も登校日の対応に追われました。実はこの件に関し連絡を受けたのは前日の19日（木）でした。そこから対応を迫られた学校は大変だったことと思いますが、決して予期していた訳ではありませんけど、幸い本校はそれ以前から「リモート登校」が決定しており、当初の予定どおり事を進めることができました。

1 職員用機器の動作確認 2 生徒との接続確認 3 小グループによる本人との会話（平和集会アンケートや課題進捗状況の確認等） 4 生徒との特別面談 の4つのカテゴリーを時間帯別に各担任および職員で実施しました。ICTというのはこういう事態の時に使い勝手が良いものだと思いますが、がっつり昭和の教育を受けたものとしては、「こんな時代が来たんだ」という複雑な思いに耽る1日でした。

はちまん爺のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

緊急事態宣言でどこにも出向けず、自宅で食っちゃ寝するばかりの生活を余儀なくされている「はちまん爺」じゃ。さて、北海道で起きた女子中学生の凍死事件。背景にはどうやら「いじめ」があるようじゃ。盛んに報道されておったが皆はどう思ったかな。マスコミで報じられることがすなわち事実とは必ずしも言い切れん。しかしもし校長や教頭あるいは担任の発言が報道どおりとすれば「狂っている」としか言いようがない。校長は女子生徒の名前すら知らず、教頭は数の多い加害者の人権が優先と発言し、担任は親の相談を「個人的な用事」で4回も断っている。生徒の直接の死因は凍死で犯罪事件ではない。したがって学校関係者が罪に問われることはない。じゃが仕事には各々求められる職業倫理がある。教師は特にそれが強く求められる仕事じゃ。確かに昔のように立場だけで尊敬される存在ではない。破格の報酬を得られる仕事でもない。けれど仕事への情熱や誇り、そして正しい倫理観だけは持っていてほしいと切に願う。